



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST 長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 21
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
☎026(235)2800 FAX026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／若麻績信昭 幹事／西沢 徹 クラブ会報委員長／藤澤克彦
SAA／南 信行 副SAA／狩野 土

第1675回例会 2023年（令和5年）8月25日（金）

世界に希望を生み出そう CREATE HOPE in the WORLD

会長挨拶

若麻績信昭会長



台風VSハリケーンVSサイクロン発生する場所によって呼び名が変わります。まずは「台風」赤道付近の海上で発生し、渦を巻いて発達しながら暴風雨をもたらす熱帯低気圧です。

カリブ海がある北大西洋、東側の北東太平洋で発生する「暴風の神」を意味するスペイン語が語源の「ハリケーン」南・北インド洋や南太平洋で発生する「回る」を意味するギリシャ語から「サイクロン」。

人的被害から見ますと、洪水等防災設備がしっかりと整わない、発展途上国は、被害が甚大になります。1991（平成3）年バングラデシュで起きたサイクロンでは約13万7千人、2008（平成20）年ミャンマーで起きたサイクロン「ナルギス」では約138,400人、1970（昭和45）年バングラデシュで起きたサイクロン「ボーラ」では約30万人の死者、行方不明者を記録しています。

経済的被害では、やはりアメリカのハリケーンで、ハリケーン2017（平成29）年「マリア」で死者等は3,059人、被害額は約916億ドル（約12兆8,240億円）、また同じ年「ハービー」で死者等は107人、被害額は約1,250億ドル（約17兆5,000億円）、2005（平成17）年「カトリナ」で死者等は1,836人、被害額は約1,610億ドル（約22兆5,400億円）となっています。

我が国では台風しかありません。

1934（昭和9）年9月21日に起きた「室戸台風」死者等は3,036人、負傷者1万4,994人、全壊または半壊家屋被害92,740棟、1945（昭和20）年9月17

日の「枕崎台風」死者等は3,756人、負傷者2,452人、家屋被害89,839棟、1959（昭和34）年「伊勢湾台風」死者等は5,098人、負傷者は38,921人、家屋被害は833,965棟となります。

平成以降は2011（平成23）年「台風12号」死者等は98人、負傷者113人、家屋被害4,008棟、2004（平成16）年「台風23号」死者等は98人、負傷者は721人、家屋被害は21,350棟、2019（令和元）年「台風19号・東日本台風」死者等は110人、負傷者は384人、家屋被害は千曲川の氾濫などがあったので、66,383棟にのぼりました。

9月は台風シーズンです。皆さんお気を付けてください。

幹事報告

西沢 徹幹事



- ・*第2回クラブ協議会報告
- ・明日26日ロータリー財団・米山奨学地区セミナーがオンラインにて開催されます。ロータリー財団セミナーに若麻績会長出席予定です。

- ・10月14日に開催されます北信第一グループIM・会員セミナーのご案内をFAXさせていただきました。登録の関係上締め切りが9/8までとなっております。本年度は、須坂RCホストにより、ホテルメトロポリタン長野で開催予定です。また、IM（インターシティ・ミーティング）では、第一生命経済研究所首席エコノミスト永濱利廣氏による基調講演がございます。大勢の方のご参加をお待ちしております。

8/25 (会員28名) 出席18名 出席率64.29%

ゲスト 宮之尾 剛さん (アマチュア写真家)

- ・若麻績信昭さん・西沢 徹さん☆相変わらず暑いですね。
- ・高橋英司さん☆今日誕生日を迎えました。
- ・太田裕志さん☆宮之尾さん、本日はお忙しいところありがとうございます。よろしくお願ひします。
- ・佐藤吉朗さん☆先週、休会だと思い込み無断欠席しました。反省！
- ・伊東義次さん☆アツイ、ダルイでも元気。

・合計 14,000円 ・累計 108,518円

8月21日軽井沢ロータリクラブ訪問 会長



8月21日軽井沢RCに訪問され、卓話をされました。

米山奨学生戸倉上山田ロータリクラブ訪問



8月25日青木カウンセラー同行し、二回目の戸倉上山田RC訪問です。

9 / 1 本日のプログラム

ゲスト卓話 青木 茂さん
(長野市開発公社)

例会案内

- 9月8日 ゲスト卓話 西澤 明英さん
(株)フューチャーラボ)
- 9月15日 会員卓話 西沢 徹さん
- 9月22日 休会
- 9月29日 休会
- 10月6日 ガバナー補佐事前訪問例会

ゲスト卓話 宮之尾 剛さん

「北信州・里山の尊厳」



アマチュアの写真家です。私の父が地元の北信州の里山の油絵を描いていました。絵の為に写真を撮って回っていましたが、それに付き合い、見ていくうちに地元長野の美しい風景や場所、生き物などに興味が湧き、カメラを手にするようになったのが写真を始めるきっかけです。同時に長野市中御所にあるアカオウ写真屋さんでお世話になり、社長さんをはじめスタッフさんに撮影会や写真教室で写真を教えて頂きました。そんな中様々な写真コンテストがあり、挑戦をしていました。

そんな時、前田真三賞という賞の存在を知りました。前田真三賞というのは、写真界における芥川賞みたいなもので、プロの写真家もアマチュアの写真家も混ざって競う風景写真の日本のトッププロへの登竜門のような賞です。もしくは、プロの方でも自分の肩書を付けるために挑戦されます。前田真三賞というのは、審査が二年がかりで行われます。一年目は予選で、二年目は決勝になるのですが、先ず、写真家一人一人が自分で決めたテーマ・場所を一年四季を通して撮りためた写真を予選では10枚、決勝では30枚一つのストーリーを持たせて組作品を作り、また作文なども書き一緒に提出し、審査して頂きます。予選では全国200名程度の写真家が挑戦し、決勝の前に大体50名に絞られます。50名で決勝を競い受賞できるのは1名だけです。私は、一昨年・昨年開催された第22回前田真三賞で、予選を3位以内で通過することができました。決勝では残念ながら受賞は出来ませんでした。最終選考10名に選んでいただき、写真を日本全国のギャラリーに巡回展をやらせていただきました。自分がテーマにしていることは「北信州・里山の尊厳」というものです。自分の故郷の風景が北海道や阿蘇の大自然をテーマにしている方々と接戦となり、競い合えたことが本当にうれしくて、とても感動しました。この挑戦を通して、写真を撮らせて頂いた芋井・小田切・小川村・鬼無里・戸隠などの地区の自然とお世話になった里の皆さんに出会えたことに一番感謝していますし、自分の財産となっています。高齢化が進み山を下りる決断をされる方、山に残る決断をする方がいます。残られる皆さんはその土地を愛し、その暮らしに尊厳を持って生きています。自然も生き物も同じだと思ひました。自分の写真に尊厳を映し出せるように努力し、これからもどんどん撮れなくなってしまう風景ですが、少しでも多く残せていけたらと思っています。